

TGM

排水処理ニーズ対応

再利用でSDGsに貢献

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、スペイン・フィルトラグラス社の排水処理装置を販売している。フィルトラグラス社の排水処理装置は、洗浄機や加工機からの排水をフィルター方式でろ過することで、ガラス加工設備で再利用可能な品質の工業用水を得ることができる。ガラス微粒子はフィルターによって集積され、固形状にして回収が可能。SDGs(持続可能な開発目標)の観点から、ガラス加工排水の処理に関するニーズは世界中で高まっている。国内でも加工機の設備導入と同時に排水処理装置の導入を進めるガラス加工メーカーが増えている。同社はガラス加工設備と排水処理装置をワンストップで提案しており、国内への導入実績も増加しているという。

フィルトラグラス社の排水処理装置は、基本的な制御・ろ過装置とタンクから構成。タンクは2槽式で貯水槽と浄水槽から成り、ガラス加工排水

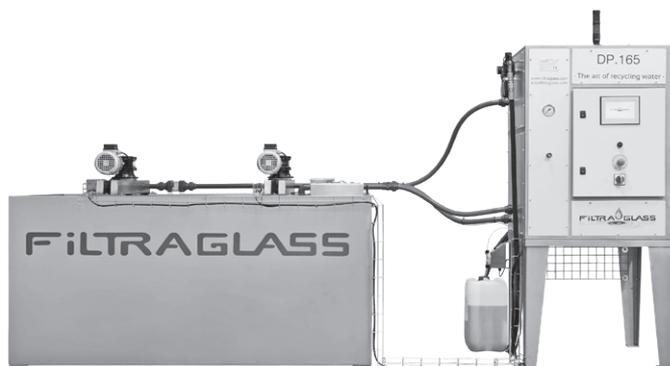
をためる貯水槽の水がフィルター方式のろ過装置を経て浄水槽に供給される。フィルターにはガラス微粒子(スラッジ)が堆積していくが、制御装

置が一定量の蓄積を検出すると、スラッジを乾燥

・圧縮して自動的に装置外部へ排出する。排出の際にガラス加工設備を停止する必要はない。機種、装置構成によって、フィルターでろ過処理された水はCNC加工機のスピンダルにも使用可能な品質の水となるため、

ガラス加工設備で再利用することができる。フィルトラグラス社の標準シリーズは、水槽容量が3700ℓ~1万2000ℓ、排水処理能力は毎分50~160ℓ。機種によって縦型コバ磨き機1~4台の排水をおおむね処理でき

でも提案できる。フィルトラグラス社は、創業来15年以上にわたってガラス加工排水の排水処理装置の開発製造に従事しており、専門的な知見が豊富。客の設備やレイアウトに応じた柔軟な提案を得意としており、処理能力に応じたさまざまな製器をラインアップしている。



フィルトラグラス社の排水処理装置=上は標準シリーズ、下は大容量シリーズ

ね処理できる能力になっている。大容量シリーズは排水処理能力が毎分200~1500ℓで、複数の加工機からの排水をまとめて処理できる。フィルトラグラス社は客の設備や工場レイアウトに応じた柔軟な設備改造が得意で、高低差を利用した水の循環動線な